

しば子先生の

ミニミニ芝生教室

第124回 刈高



先生：最適なグリーンスピードについてはわかったわね・・・USGA によるスティンプメーターの進化、普及でグリーンスピードに関する研究もずいぶん進んだわ・・・

生徒：早いグリーンを簡単に作れるようになれば管理の苦勞も減りますね・・・

先生：そうね・・・魔法のように早くできれば苦勞は無いんだけど・・・実際様々な研究成果は出ているんだけどそれらの結果を見ても魔法のようなレシピは見当たらないわ・・・

生徒：やはりそうですか・・・

先生：でも基本的なことはずいぶんわかっているわ・・・後はそれをどこまで実践できるにかかっていると思うわ・・・管理の予算の制約もある早いグリーンを作ろうとすれば当然コストも上がってくるわね

生徒：ゴルフ場も基本的にはビジネスですからね

先生：それに以前も言ったように『スピードキル』という言葉があるように、スピードを求めて芝生が無くなってしまったのでは本末転倒だわね・・・

生徒：確かに・・・芝が無くては話にならない・・・しかし実際ボールの転がりが早くなる理由はどういう

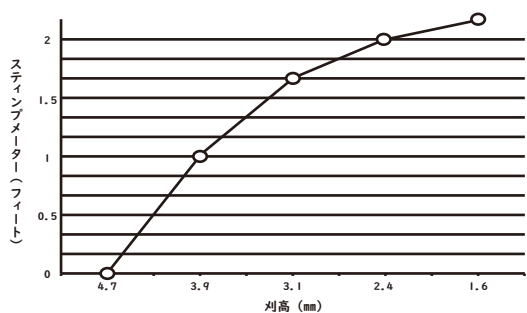
なくなりますね・・・

先生：そう・・・でもまず芝の密度を上げるのは簡単では無いわ・・・肥料をしっかりとあげるのが基本だけど芝生の品種によっても結果は違う

し、土壌条件によっては根が浅くて養分を十分に吸収できない場合もあるし・・・また低刈りしようにも不陸があつてできないとか・・・

生徒：言うは易し行は難しですね・・・

刈高とグリーンスピードの変化



先生：そう・・・まず正しい土壌条件と必要十分な養分管理が最低条件・・・まず基本ができてないとね・・・

生徒：やはり偶然は無いんですね・・・

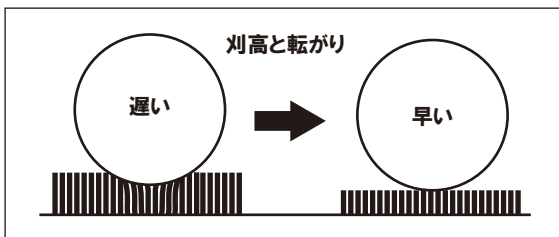
先生：刈高もタダ下げれば良いという物では無いわ・・・下げれば相対的に根は浅くなるので養分管理、水管理はより難しくなるわ・・・

生徒：そうですよね・・・以前も夏の暑さに耐えるために刈高を上げて対応する話がありました・・・

先生：そういうことね・・・実際のところ刈高をどんどん下げればどんどん早くなるわけでも無いのよ・・・グラフを見て・・・4.7mm の刈高から約 0.8mm づつ刈高を下げて行くと、最初の 0.8mm は 1 フィート早くなるけど次の 0.8mm では 0.6 フィート、その次は 0.3 フィートしか早くならないのよ・・・

生徒：なるほど刈高を下げれば下げるほどだんだん速くなるスピードは縮まってしまふんですね・・・

先生：しかも芝生の管理はどんどん難しくなるわ・・・アメリカのメジャートーナメントでは大体 2mm 以下で管理されていると思うわ・・・しかも土壌の水分量を早さのために下げているからどうしても『スピードキル』で部分的に焼けてしまうことがあるわね・・・



理屈なんでしょう・・・

先生：基本は簡単ね・・・ボールの転がる接地部分の芝が転がる行く手でボールを止めようとしてしまふ

状況と言うことね・・・図の状況ね・・・

生徒：なるほど・・・ボールが芝生に沈んで芝生の葉がボールにブレーキをかけてしまふんですね・・・

先生：そう・・・だから芝生の密度を上げて刈高を下げる・・・これがグリーンのスピードを上げる基本ね・・・言うのは簡単だけだね・・・

生徒：確かに刈高が低ければ芝にボールが沈まないのいで抵抗が



しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp